

# 大阪府本部だより

2026.3.1. 発行 Vol. 44, No. 13 通巻 第 328 号

発行人：吉田義隆

## ◇ 就任のご挨拶 ◇

関西本部事務局長

**清水 隆**

関西本部事務局長の小杉さんをご定年退職され、1月より後任として事務局長を引き継がせていただきました清水隆と申します。年齢は65歳です。朝日新聞

社の写真部（当時）に27年ほど在籍しました。当時は、他社との「勝った負けた」の競争が激しい時代でしたので、楽しみながら写真撮影した記憶はありません。55歳で、写真部から朝日新聞が所蔵する写真をデータベース化するフォトアーカイブ編集部に異動しました。

写真と素直に向き合う時間が増え、大正時代にまで遡って何万枚も写真を見てきました。そして、時代を飛び越えて語りかけてくる写真に多く出会いました。

今までは、写真を撮る側にいましたが、写真を感じて「読む側」になっていったような気がします。写真部時代の「勝った負けた」の世界から離れて、写真の持っている本質的な力や魅力に引き込まれていきました。そして、ようやく写真が楽しめるようになりました。

定年退職し、1月から全日本写真連盟関

西本部の一員に加えていただく事になりました。大阪府本部は95年の歴史があり、吉田委員長を中心に様々な企画に取り組まれているとお聞きしております。機会があれば、私も撮影会などに参加させていただき皆様と交流を深めて写真を楽しみたいと思っております。新米の事務局長ですが、何卒よろしく願いいたします。

## <2026 事業計画>

### ■ 春の撮影会

（全日写連×ヨドバシカメラ コラボレーション大撮影会）

・4月25日（土）10：30～15：30  
（雨天開催）

※詳細は同封のチラシをご確認ください。

### ■ フォトセミナー

・開催日：① 5月30日（土） ② 6月21日（日） ③ 6月28日（日）

※詳細は同封のチラシをご確認ください。

### ■ 夏の企画「ひと味違ったステル写真（テーブルフォト）」

・8月の休日、朝日新聞大阪本社会議室  
※詳細はチラシでお知らせします。

### ■ 第3回全日本エンジョイ'80フォトコンテスト

※詳細はチラシでお知らせします。

## ■ 秋の撮影会（秋祭り）

※詳細はチラシでお知らせします。

## ■ 冬の撮影会

※詳細はチラシでお知らせします。

## ■ 支部長委員交流会

※実施については、アンケートをとる予定です。

## ■ 支部選抜作品展

※実施については、アンケートをとる予定です。

## <全日本写真連盟 100周年記念>

## 全日写連 × ヨドバシカメラ コラボレーション大撮影会のご案内

全日本写真連盟 100周年記念行事として、ヨドバシカメラとのコラボレーションによる大撮影会を開催します。全日写連大阪府本部としても、初めてのヨドバシカメラとの共同企画となります。当日は、次の2つの撮影会を楽しめます。

- ・全日写連による多彩なパフォーマンス撮影
- ・ヨドバシカメラによるモデル撮影会  
それぞれの撮影会でコンテストも実施します。春の一日を満喫できる内容となっていますので、ぜひ奮ってご参加ください。

### ■ 開催日時

2026年4月25日(土) 10:30~15:30 (雨天開催)

### ■ 会場

大阪万博記念公園(吹田市千里万博公園)

### ■ 撮影内容

#### 【全日写連 撮影会】

チンドン/チアリーディング/阿波踊り /フラダンス

#### 【ヨドバシカメラ 撮影会】

モデル撮影

※各撮影会でコンテストを実施します。

### ■ 参加申込について

撮影会の申し込みは、ヨドバシカメラでの受付となります。

### ■ 参加費

- ・事前申込：5,000円
- ・当日参加：6,000円
- ・U30割：3,000円  
(年齢確認のため、店頭で受付)

### ■ お支払いについて

- ・ネット申込の場合：撮影当日の受付にて現金支払い
  - ・店頭申込の場合：ポイント還元あり
- ※詳細は同封のPOPチラシをご確認ください。

## 撮影会報告：冬の和歌山、光と影のコントラストを撮る

開催日：2026年1月21日 参加人数：会員15名 撮影地：白崎海岸・雑賀崎(和歌山県)

### ■ 白崎海岸 — 青と白が織りなす絶景

午前中の白崎海岸は、最高の撮影コンディションに恵まれました。どこまでも続く青い空に、立体感のある白い雲が浮かび、その下に広がる透明度の高い綺麗な

海。石灰岩の白さが際立つこの場所で、参加者の皆さんは夢中でシャッターを切っていました。広角レンズで雲の流れを捉えたり、海の深い青を強調したりと、冬ならではのクリアな色彩を満喫しました。

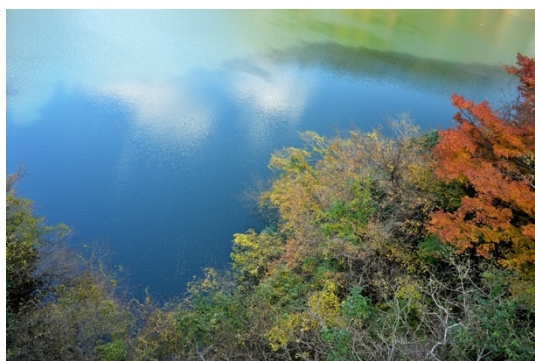
## ■ 雑賀崎 — 予報外の雪混じりの雨

午後に訪れた雑賀崎では、天候が急変。撮影の途中で雪混じりの雨が降り出し、一時は冷え込みが厳しくなりました。しかし、この急な天候の変化も撮影会の醍醐味です。雨の中の撮影となりましたが、雨に濡れて質感を増した古い街並みや、雪に霞む港の風景など、ドラマチックなシーンに巡り合うことができました。

天候の劇的な変化に驚かされた一日でしたが、参加した15名の皆さんは、晴天の輝きから雨の情緒まで、表情を変える和歌山の風景を終始笑顔で楽しまれました。厳しい寒さの中での撮影、大変お疲れ様でした！

## 読者の広場

### <第31回吹田写友展>



【吹田写友会「秋ふわふわ」古川和男】

一昨年も猛暑の夏で、秋の訪れがわからず自宅近くをドライブに出かけました。

通り知ったロックヒルダムを覗いたときの撮影です。

全く人気(ひとけ)も無く静まり返った水面に、ふんわりとした白い雲が映り込んでおり、時折静かな風が吹いておりました。

しばらくすると湖畔に小さな秋が点在していることに気づき、木立にもようやく秋色が感じられた情景を、切り取りました。

### <第31回吹田写友展>



【吹田写友会「小鉄」肥田久美子】

カメラを手に取るきっかけは、息子が拾ってきた白キジトラの子猫、小鉄だった。

そのあまりのヤンチャぶりと、可愛さに家族メロメロ。

私は早速、岩合さんを気取ってレンズを向けるとさっさと居なくなる。

小鉄はカメラ嫌い。動きが早く、追いつけない。悪戦苦闘の日々。

小鉄が8歳になり、大人の風格を漂わせる様になり、だいぶ撮りやすくなってきた。

ただし、面白味には欠けるが。

### <第31回吹田写友展>



【吹田写友会「古代遺跡散策」高橋耕二】

2025年4月、春の蝶を求めてモロッコとトルコに出かけた。

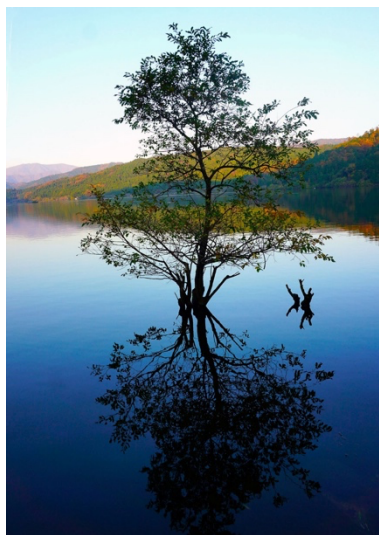
旅の後半、天候が悪化したのでパムッカレ観光に切り替えた。オスマントルコはローマ帝国の遺跡を破壊したが、この競技場は首を落とされた像があるものの、ほとんど残ったようである。古代遺跡の実物を目の前にし2000年以上の歳月に思いを馳せ、ひと時の感慨に耽った。

<第42回くらぶRoot写真展>



【くらぶRoot「バガン悠久」大阪正視】

ミャンマー中部イラワジ川流域に広がるバガンは11-13世紀に栄えたバガン朝の都。乾燥した平原には数千の仏塔や寺院が点在し、当時の王朝が仏教をあつく信仰した証となっています。今も内部に仏像が安置され、参拝者が多く訪れる仏教聖地です。悠久の時を超え壮大な景観が信仰と歴史を今も語り継いでいます。



【フォトクラブ707「余呉湖のリフレクション」岸田吉弘】

〒530-0005 大阪市北区中之島 2-3-18  
全日本写真連盟大阪府本部

Tel:06-6201-8006 Fax:06-6201-0285  
メール: nissyaren@osaka.email.ne.jp

2020年の作品です。初めて訪ねた余呉湖、湖面に浮かぶ紅葉を期待しておりましたが。単調過ぎる景色ばかりに落胆しながらの周遊ドライブでした。カーブを過ぎた頃 この光景に出くわしました。

不安から一変、「これなんだと」一言。夕暮れ近く迄シャッターを押し続けておりました。

写真展のご案内

第41回枚方写真クラブ展

3月18日(水)～3月23日(月)  
枚方市総合文化芸術センター